

ブルッキングス研究所、卒業生に対する付加価値基準に基づく
大学ランキングを公表（4月29日）

ワシントン DC に拠点を置く非営利研究所のブルッキングス研究所 (Brookings Institution) は 4 月 29 日、①卒業生のキャリア半ばでの年収、②学資ローンの返済、③卒業生の職業の平均年収を示す「職業別収益力」、の 3 つの経済基準に基づいて大学をランク付けした報告書「大学ランキングを越えて ～2 年制・4 年制大学を評価する付加価値アプローチ～ (Beyond College Rankings : A Value-Added Approach to Assessing Two- and Four-Year Schools)」を公表した。同研究所大都市圏政策プログラム (Metropolitan Policy Program) フェローのジョナサン・ロスウェル氏 (Jonathan Rothwell) らが執筆した本報告書は、卒業生の経済的成功に強く関連する大学の質を比較したもので、STEM 分野での就労準備ができていない卒業生の割合や、学内学資援助の平均レベルなどが評価対象に含まれている。この結果、4 年制大学では、カリフォルニア工科大学 (California Institute of Technology : Caltech)、コルゲート大学 (Colgate University、ニューヨーク州)、マサチューセッツ工科大学 (Massachusetts Institute of Technology : MIT) などが、2 年制大学では、ニューハンプシャー工科大学コンコード・コミュニティカレッジ (New Hampshire Technical Institute Concord's Community College)、リー・カレッジ (Lee College、テキサス州)、パールリバー・コミュニティカレッジ (Pearl River Community College、ミシシッピ州) などが付加価値の最も高い大学にランクインした。

なお、本報告書は、
<http://www.brookings.edu/~media/research/files/reports/2015/04/29-college-value-add/bmpp_collegevalueadded.pdf>からダウンロード可能。

Brookings, Value-added rankings measure economic impact of college

<http://www.brookings.edu/~media/research/files/reports/2015/04/29-college-value-add/college-valueadded-press-release-final.pdf>